

答申 1 に示された新しい学校づくりの協議について

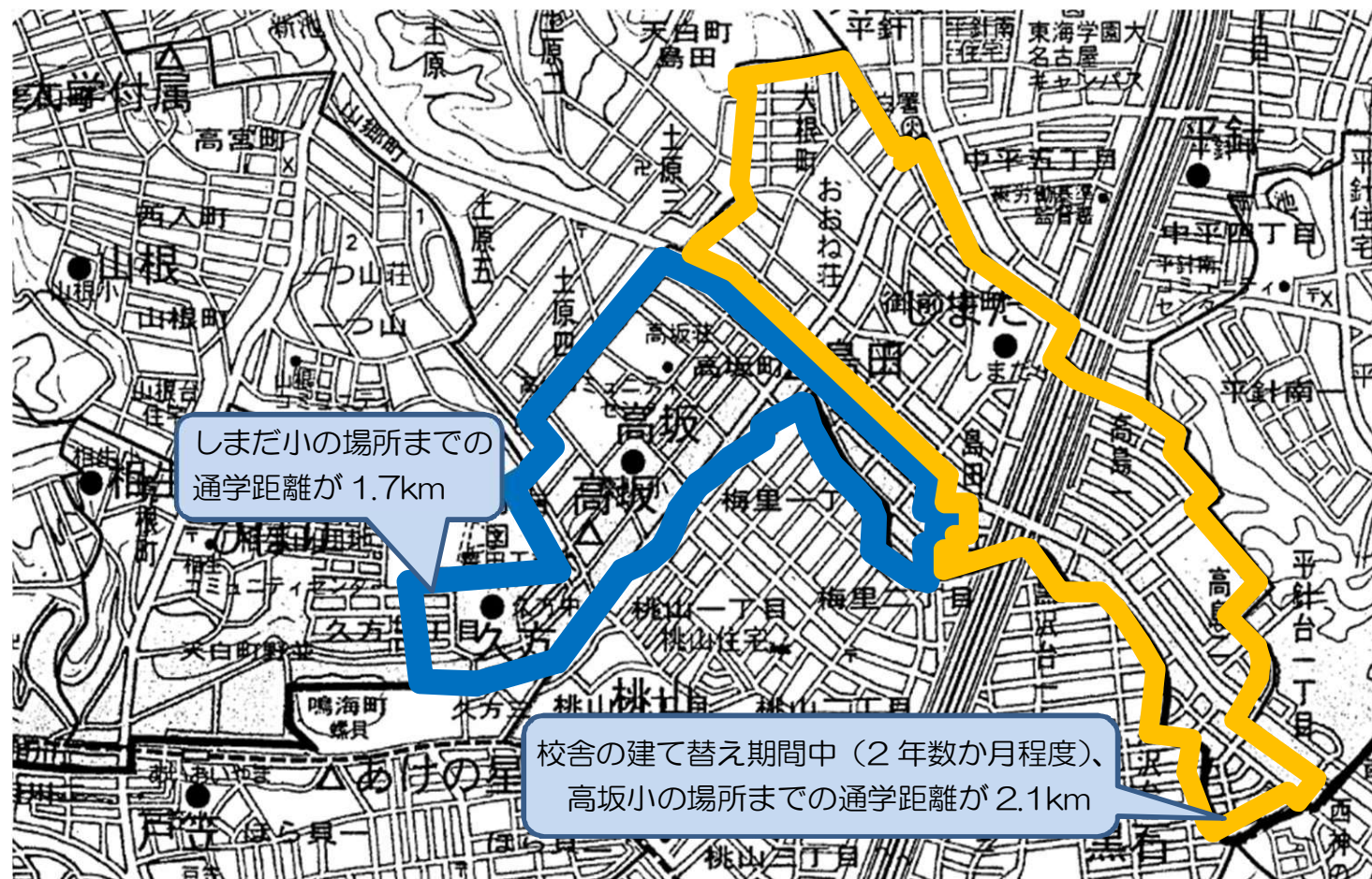
★教職員、保護者、地域と教育委員会が一体となった新しい学校づくりのための協議

◎統合により一方の学校を残し、他方の学校を廃止するのではなく、新しい学校を開設するという考え方による〈校名・校章・校歌〉の検討

◎子どもたちにとって居心地のよい新校舎、広い敷地を活用し、伸び伸びと学校生活を送ることのできる屋外空間の整備検討

◎両校の特色を継承する、地域とのつながりを大切にした教育活動などの検討

答申 3 に示された通学区域の柔軟な対応の検討について



（審議会答申）

起伏のある地域であることを踏まえた通学の負担面・安全面などを考慮し、統合時に通学距離が非常に長くなる児童については、通学条件などを勘案し、通学区域の柔軟な対応を検討すること。

保護者・地域のご意見を踏まえて、検討します。

◎統合校の規模

（1）学級数、児童数、未就学児数（令和3年度の合算）

1年	2年	3年	4年	5年	6年	特支
3学級	3学級	3学級	2学級	2学級	3学級	2学級
75人	84人	86人	71人	78人	97人	13人
504人						

特支：特別支援学級（以下同じ）

0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
69人	74人	94人	105人	78人	87人
507人					

（2）学級数及び児童数の見込み

令和4	令和5	令和6	令和7	令和8	令和9
16学級	17学級	19学級	19学級	18学級	18学級
474人	470人	500人	505人	494人	489人

※特別支援学級は設置基準が異なるため、含めていません。

○高坂小学校の現状等

（1）学級数・児童数、学区の未就学児数（令和3年度）

1年	2年	3年	4年	5年	6年	特支
1学級	1学級	1学級	1学級	1学級	1学級	2学級
20人	21人	19人	14人	14人	20人	5人
113人						

0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
16人	14人	29人	32人	25人	27人
143人					

（2）学級数及び児童数の見込み

令和4	令和5	令和6	令和7	令和8	令和9
6学級	6学級	6学級	6学級	6学級	6学級
112人	121人	136人	144人	134人	126人

※特別支援学級は設置基準が異なるため、含めていません。

○しまだ小学校の現状等

（1）学級数・児童数、学区の未就学児数（令和3年度）

1年	2年	3年	4年	5年	6年	特支
2学級	3学級	2学級	2学級	2学級	2学級	2学級
55人	63人	67人	57人	64人	77人	8人
391人						

0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
53人	60人	65人	73人	53人	60人
364人					

（2）学級数及び児童数の見込み

令和4	令和5	令和6	令和7	令和8	令和9
12学級	12学級	13学級	14学級	15学級	14学級
362人	349人	364人	361人	360人	363人

※特別支援学級は設置基準が異なるため、含めていません。

答申 2 に示された統合校の施設整備について

名古屋市立しまだ小学校 学校平面図

現在のしまだ小学校の校舎等を全面的に取り壊し、新築します。

1 液状化発生の可能性



明治期の湿地帯(水色：湖沼、灰色：湿地) 国土地理院 HP

「あなたの街の地震ハザードマップ 天白区版」
(赤・黄・緑の順に、液状化可能性大・中・小です。)

しまだ小学校敷地内の地盤調査 (令和 3 年度)

【実施概要】 液状化発生の可能性が高いと推測される体育館
付近において、深さ 20m のボーリング調査を実施

【今後の方針】 新校舎を建設する際には追加で調査を行い、必要に応じ対策を実施

【判定結果】
液状化の可能性はない

2 鉄塔の安全性



しまだ小学校敷地内から撮影

(以下、中部電力パワーグリッド)

①電気事業法など関係法令に基づいて設置・管理している。

②鉄塔周囲の法面(写真正面部分)は、宅地造成等規制法等の関係法令に準拠した安定勾配(35°以下)を確保している。

※審議会での説明・質疑と提供資料は、名古屋市公式ウェブサイトに掲載しています。

3



土砂災害警戒区域等

・新校舎は校舎配置を変更し新築します。(左図)

・隣接する中部電力パワーグリッドの敷地との間には、擁壁を設置しています。(下の写真)



↑の位置から撮影